



特長と機能

Firepower バージョン 6.3.0.x には以下が含まれます。

- [新機能](#) (1 ページ)
- [廃止された機能](#) (3 ページ)
- [FMC How-To ウォークスルー](#) (3 ページ)

新機能

次の表に、バージョン 6.3.0.x のパッチで使用可能な新機能の概要を示します。

表 1:バージョン 6.3.0.xの新機能

機能	バージョン	説明
FTD NAT ポリシーでのルール競合の検出	6.3.0.4	<p>バージョン 6.3.0.4 にアップグレードすると、競合するルール（「重複」ルールまたは「オーバーラップ」ルールとも呼ばれます）を持つ FTD NAT ポリシーを作成できなくなります。これは、競合する NAT ルールが順序どおりに適用されていない問題の修正によるものです。</p> <p>現在競合している NAT ルールがある場合は、アップグレード後に展開することができます。ただし、NAT ルールは引き続き順序どおりに適用されません。</p> <p>そのため、アップグレード後に FTD NAT ポリシーを調べることをお勧めします。それには、ポリシーを編集して再保存を試みます（変更は必要ありません）。ルールが競合している場合は保存ができません。問題を修正して保存し、それから展開します。</p> <p>（注） 6.4.0 にアップグレードすると、この修正が無効になります。この問題は、バージョン 6.3.0.4 および 6.4.0.2 では対処されています。</p> <p>サポートされるプラットフォーム：FMC を搭載した FTD</p>
EMS 拡張機能のサポート	6.3.0.1	<p>バージョン 6.3.0.1 では EMS 拡張機能のサポートが再導入されます。これは、バージョン 6.2.3.8/6.2.3.9 で導入されましたが、バージョン 6.3.0 には含まれていませんでした。</p> <p>[復号 - 再署名 (Decrypt-Resign)] と [復号 - 既知のキー (Decrypt-Known Key)] の両方の SSL ポリシーアクションが、再び ClientHello ネゴシエーション時に EMS 拡張機能をサポートし、よりセキュアな通信が可能になります。EMS 拡張機能は、RFC 7627 によって定義されています。</p> <p>FMC 展開では、この機能は、デバイスのバージョンによって異なります。ベストプラクティスは展開全体をアップグレードすることですが、デバイスにパッチを適用するだけでも、この機能はサポートされます。</p> <p>影響を受けるプラットフォーム：すべて</p>

機能	バージョン	説明
[ISE接続ステータスのモニタ (ISE Connection Status Monitor)]ヘルスマジュール	6.3.0.4	<p>新しいヘルスマジュール [ISE接続ステータスのモニタ (ISE Connection Status Monitor)]は、Cisco Identity Services Engine (ISE) と FMC間のサーバ接続のステータスをモニタします。</p> <p>新規/変更された画面：[システム (System)]>[健全性 (Health)]>[ポリシー (Policy)]>ポリシーの作成または編集> [ISE接続ステータスのモニタ (ISE Connection Status Monitor)]</p> <p>(注) バージョン 6.4.0 にアップグレードすると、このモジュールが無効になります。サポートは、バージョン 6.4.0.2 で再開されています。</p> <p>サポート対象プラットフォーム：FMC</p>

廃止された機能



- (注) Cisco Firepower User Agent ソフトウェアとアイデンティティソースについてはサポートの終了が予定されています。今すぐ Cisco Identity Services Engine/Passive Identity Connector (ISE/ISE-PIC) に切り替えてください。これにより、ユーザエージェントで使用できない機能も利用できるようになります。ライセンスを変換するには、販売担当者にお問い合わせください。

詳細については、「[Cisco Firepower Management Center Configuration Guides](#)」 ページで該当する *Cisco Firepower* ユーザ エージェント コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

バージョン 6.3.0 のパッチで廃止された機能はありません。

FMC How-To ウォークスルー

バージョン 6.3.0 では、デバイスのセットアップやポリシー設定などのさまざまな基本タスクについて順を追って説明する、FMCに関するウォークスルー (How-To と呼ばれる) が導入されています。ブラウザウィンドウの下部にある [How To] をクリックし、ウォークスルーを選択して、手順ごとの説明に従って操作します。



- (注) ウォークスルーは Firefox および Chrome ブラウザでテストされています。別のブラウザで問題が発生した場合は、Firefox または Chrome に切り替えてください。問題が解消されない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

次の表に、一般的な問題点と解決策をいくつか示します。ウォークスルーは、右上隅の [x] をクリックするといつでも終了できます。

表 2: ウォークスルーのトラブルシューティング

問題	解決方法
ウォークスルーを開始するための [How To] リンクが見つからない。	ウォークスルーが有効になっていることを確認します。ユーザ名の下にあるドロップダウンリストから、[ユーザ設定 (User Preferences)] を選択し、[設定方法 (How-To Settings)] をクリックします。
ウォークスルーが予期しないタイミングで表示される。	ウォークスルーが予期しないタイミングで表示される場合は、ウォークスルーを終了します。
ウォークスルーが突然消えたり終了したりする。	ウォークスルーが消えた場合は、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> ポインタを移動します。 <p>FMC で進行中のウォークスルーが表示されなくなることがあります。たとえば、別のトップレベルメニューをポイントすると表示されなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のページに移動して、もう一度やり直してください。 <p>ポインタを移動しても表示されない場合は、ウォークスルーが終了している可能性があります。</p>
ウォークスルーが FMC と同期していない。 <ul style="list-style-type: none"> 誤った手順から開始される。 進行が早すぎる。 先に進まない。 	ウォークスルーが同期していない場合は、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> 続行します。 <p>たとえば、フィールドに無効な値を入力してエラーが表示された場合は、ウォークスルーが先に進行することがあります。戻ってエラーを解決してタスクを完了することが必要になる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォークスルーを終了し、別のページに移動してもう一度やり直します。 <p>場合によっては続行できないこともあります。たとえば、手順の完了後に [次へ (Next)] をクリックしないと、ウォークスルーの終了が必要になる場合があります。</p>